

作目名	シンビジウム
-----	--------

作型名	施設栽培
-----	------

月 旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		備考														
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
1年目	C P 苗購入										◎苗購入																												
	●		~		●												●																						
		3号鉢												4号鉢																									
~~~~~																																							
2年目																																							
											●		~		●																								
										6号鉢																													
~~~~~																																							
3年目																																							
																					■		△				~		△										
																				△						~		△											

●鉢上げ ■収穫 ~~~~~暖房 ~~~~~施設 △山上げ

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

西濃、中濃、東濃

(2) 立地条件

①気象条件

冬期温暖で夏期冷涼な地帯が望ましい。早期開花させるためには、山上げ栽培が不可欠であるので、近くに標高800~1000mの山上げ場所が必要である。

②ほ場条件

山上げ場所には灌水用の水源が必要である。

③栽植株数 (10a当たり)

3,000鉢

(3) 目標収量 (10a当たり、6号鉢)

2,600鉢

○施肥基準

施肥事例 (1,000鉢当たり・kg)

生育ステージ		施 肥 量		左 の 成 分 量		
		基 肥	追 肥	窒 素	りん酸	加 里
1 年 目	3号ポット	2		0.12	0.8	0.12
	4号ポット	5		0.3	2.0	0.3
	活着後					
	春～秋5回		50	2.5	4.3	0.3
2 年 目	6号鉢	10		0.6	4.0	0.6
	春～秋5回		100	5.0	8.6	0.6
3 年 目	春～秋4回		80	4.0	6.9	0.5
	7月～9月					

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

開花年の4～6月の多肥は花芽数の減少につながるため、減肥又は窒素割合の低い肥料とする。